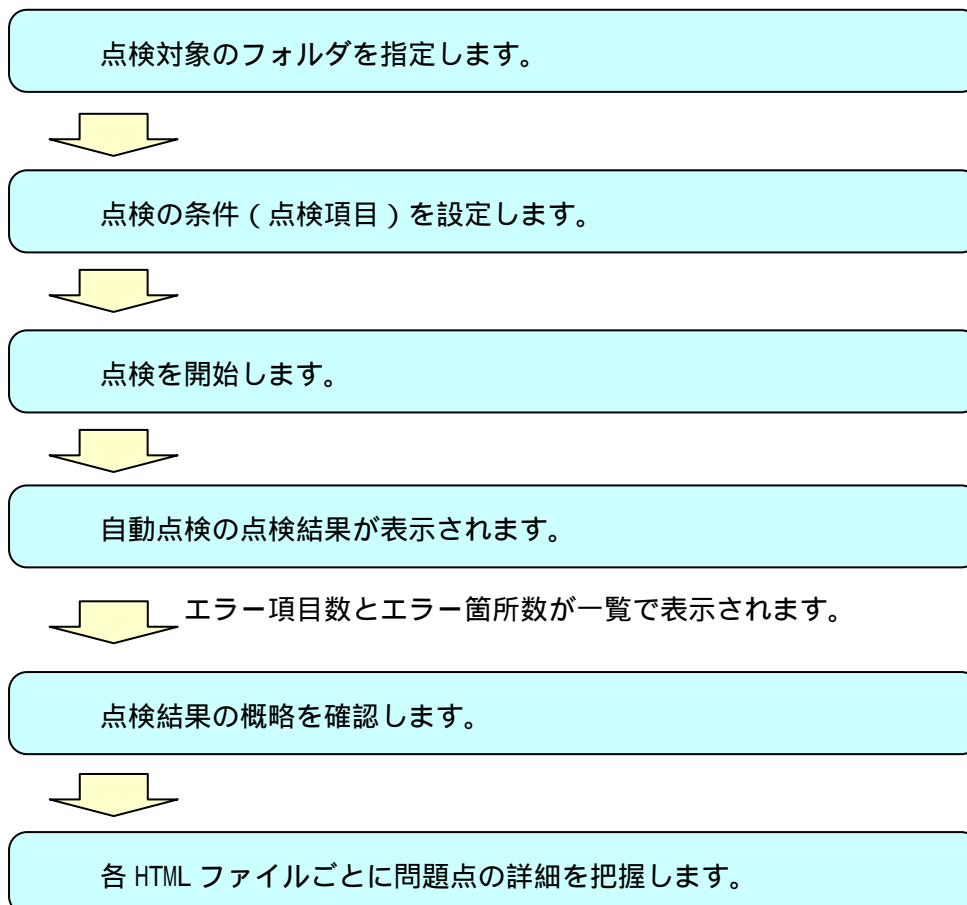


## 第 3 章 その他の機能を使う

## 10 【フォルダ一括簡易チェック】機能の利用手順

---

フォルダ内の複数ファイルを一度に簡易点検する手順は、以下のとおりです。



以下に、各手順の詳細を説明します。

点検対象のフォルダを指定します。

アクセシビリティを点検したいフォルダを指定します。

指定したフォルダ内にある HTML ファイルを一括点検することができます(サブフォルダ内のファイルは対象になりません)。

点検対象を指定する枠内にフォルダ名 (C:/My Documents/www/sample/ など)を入力してください。フォルダ名を指定する場合には、【参照】ボタンを使ってフォルダを探し出すこともできます。



**重要！**

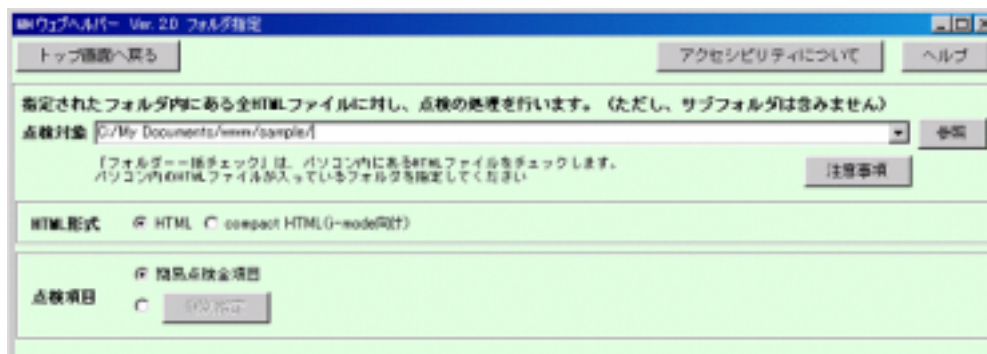
この機能での点検対象はローカルネットワーク環境でアクセスできるフォルダ内の HTML ファイルです。

- インターネット上に公開されているコンテンツを点検したい場合は、この機能ではなく、「アクセシビリティ点検」機能をお使いください。
- 指定したフォルダ直下の HTML ファイルが対象になります。サブフォルダ内のファイルを一括点検したい時は、再度、サブフォルダを指定する必要があります。

点検対象のフォルダを指定したら、次に HTML 形式を選択してください。HTML か compact-HTML (i-mode 向けコンテンツの場合) を選ぶことができます。

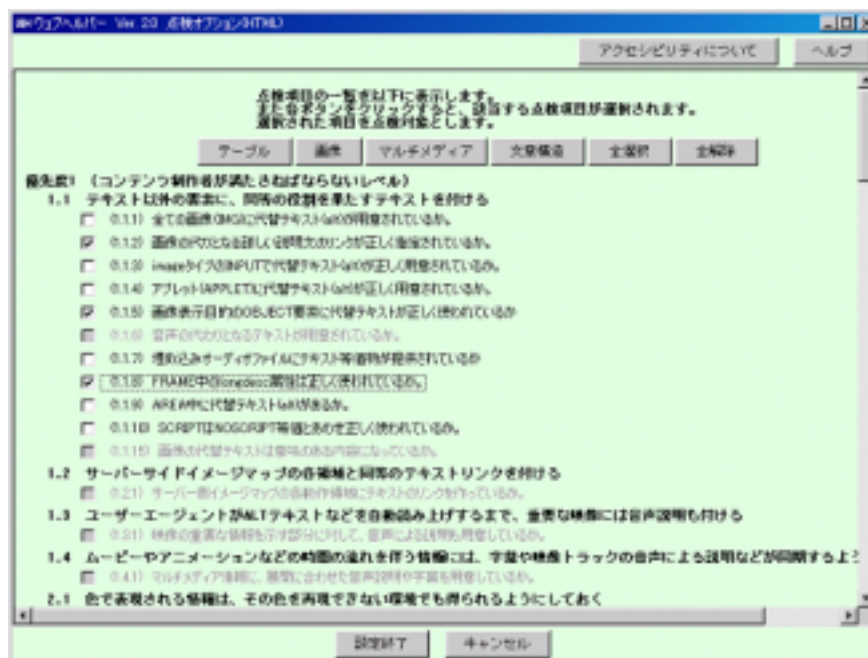
通常のホームページを点検する場合には、HTML を選んでください。

点検の条件（点検項目）を設定します。



自動的に点検できる全項目を対象にする場合は、【簡易点検全項目】を選択します。

個別に点検項目を指定して点検する場合は、【個別指定】ボタンをクリックし、点検項目を選択する次のページに移動します。【簡易点検全項目】が選択されている場合、【個別指定】ボタンは使えない状態になっていますが、個別指定の をチェックすると【個別指定】ボタンを押すことができるようになり、それをクリックすると点検項目を選択する次のページに移動します。



ここでは、点検したい項目を個別にチェックします。一つだけでなく、複数の点検項目を選ぶことができます。チェックボックスが利用可能になっている項目が簡易点検の対象項目です。項目名がグレーで薄く表示されていてチェックボックスが選択できない状態に

なっている項目は、簡易点検の対象外です。これらは、「アクセシビリティ点検」機能を使って点検し、個別に[?]マークを確認する必要があります。

上に並んだ【テーブル】【画像】【マルチメディア】【文書構造】をそれぞれ選択（クリック）することで、それぞれのテーマに関連した点検項目をまとめて選択することができます。複数のテーマを併せて選択することも可能です。

【全選択】をクリックすると、全ての点検項目が選択されます（トリプルAの点検と同じ）。【全削除】をクリックすると、既に選択した点検項目がクリアされます。

設定が終わりましたら、最下段にある【設定終了】をクリックしてください。もし何も選択せず、前の画面に戻りたい場合は、【キャンセル】をクリックしてください。

### 重要！

点検項目が限られます。

- 自動点検可能な項目についてのみ一括で点検できる簡易機能です
- 全ての項目を対象に点検をおこなう場合は、「アクセシビリティ点検」機能を利用してください。

点検を開始します。

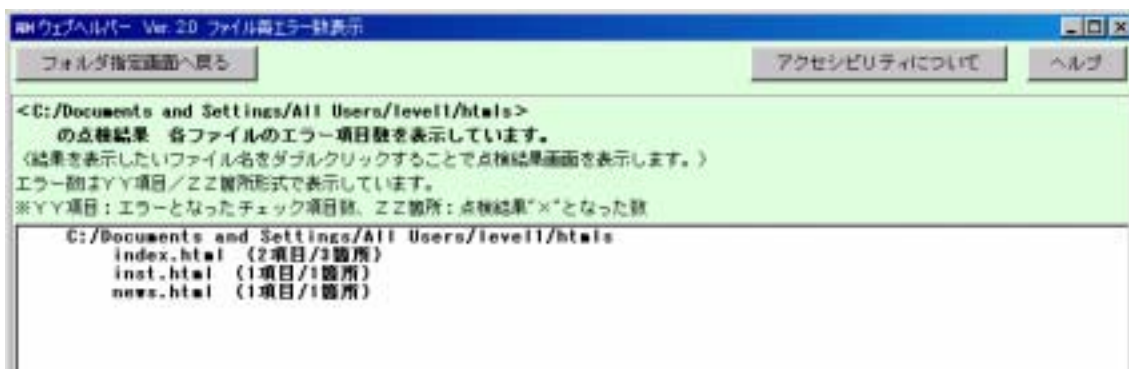
以上で、点検の準備が完了です。

最下段に表示された【点検開始】ボタンをクリックしてください。ウェブヘルパー Ver2.0 が指定されたフォルダ内の HTML コンテンツのアクセシビリティを点検します。



自動点検の点検結果が表示されます。

点検処理が終了すると、画面が切り替わり「フォルダ毎エラー数表示」画面が表示されます。



点検結果の概略を確認します。

「フォルダ毎エラー数表示」画面では、フォルダ内の HTML ファイルについて、簡易点検の結果問題のあった点検項目数と、HTML 内の問題箇所の数を確認することができます。各ファイルのアクセシビリティの状況を大まかに把握してください。

一覧では、“HTML ファイル名 (YY 項目 / ZZ 箇所)” という形式で表示されます。このうち“YY 項目”とは、HTML ファイル内でアクセシビリティ上問題があった点検項目の数、ZZ 箇所とは、HTML 内の問題箇所の総数です。

例えば、

13.1.1 リンクを示すテキストが明確になっていません

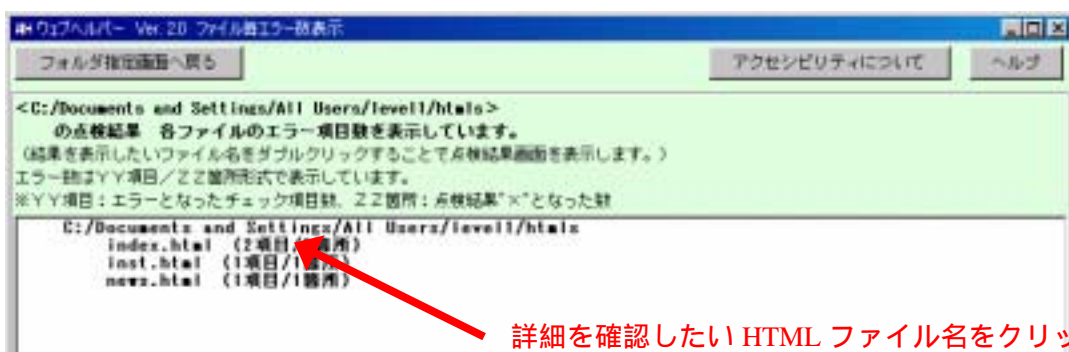
10.5.1 隣り合うリンクが明確になっていません

の 2 つの点検項目に問題があり、それぞれの項目について HTML 内に 2 箇所ずつ（合計 4 箇所）問題があった場合は、“HTML ファイル名 (2 項目 / 4 箇所)” という表示になります。

各 HTML ファイルごとに問題点の詳細を把握します。

さらに HTML ファイル毎に問題点の内容を詳細に確認することもできます。

一覧から確認したい HTML ファイル名を選択してください。「点検結果」画面に表示が切り替わります。



「点検結果」画面では、選択した HTML ファイルの点検結果をレポートしています。この画面の確認方法、利用方法の詳細は 2 章 38 ページを参照してください。

点検結果の概略を示した「フォルダ毎エラー数表示」画面に戻るには、【フォルダ毎エラー数表示に戻る】ボタンを選択してください。ほかの HTML ファイルの点検結果の詳細を確認したい場合には、このボタンを選択し、「フォルダ毎エラー数表示」画面の一覧から確認したい HTML ファイル名を選択し直してください。

フォルダ名を指定する「フォルダ内一括簡易チェック」機能の先頭のページへ戻るには、【フォルダ指定画面に戻る】ボタンを選択してください。

**注意！**

点検結果のレポートは、限られた点検項目を対象にしたものです

- 正確なアクセシビリティ点検を行うには、「アクセシビリティ点検」機能を利用して点検を行ってください。



## 1 1 【文章構造チェック】機能の利用手順

HTML の文章構造（h1～h6 の見出しタグの構成）の確認は、以下の手順で行います。

点検対象の HTML ファイルを選択します。



文章構造を確認します。

以下に手順の詳細を説明します。

点検対象の HTML ファイルを選択します。

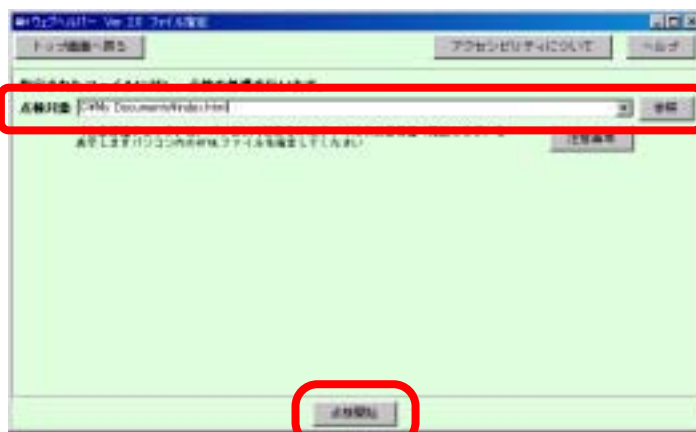
まず、ウェブヘルパー Ver2.0 のトップ画面メニューから、【文章構造チェック】ボタンを選択します。



文章構造を点検したいファイルを指定します。

点検対象を指定する枠内にファイル名を入力してください。ファイル名を指定する場合には、【参照】ボタンを使ってファイルを探し出すこともできます。

点検対象のファイルを指定し



たら、最下段に表示された【点検開始】ボタンを押してください。ウェブヘルパー Ver.2.0 が文章構造チェックを開始します。

注意！

点検対象はローカル環境でアクセスできる HTML ファイルです。

複数の HTML ファイルについて点検を行いたい場合は、一連の手順を繰り返して行ってください。

文章構造を確認します。

自動的にブラウザが立ち上がり、見出しタグが指定されているテキストが表示されます。

見出しタグがきちんと入れ子<sup>\*1</sup>になっているかどうか、簡潔で分かりやすい見出しが付けられているかどうかを確認してください。



\*1 入れ子：上位の見出しタグの中に順番に下位の見出しタグが位置づけられている状態。

## 1 2 【タイトルエディタ】機能の利用手順

---

「タイトルエディタ」機能の利用手順は以下のとおりです。

点検対象のフォルダを選択します。



各ページのタイトルを確認し、必要に応じて修正します。



修正結果を保存します。( で修正を行った場合)

以下に手順の詳細を説明します。

点検対象のフォルダを選択します。

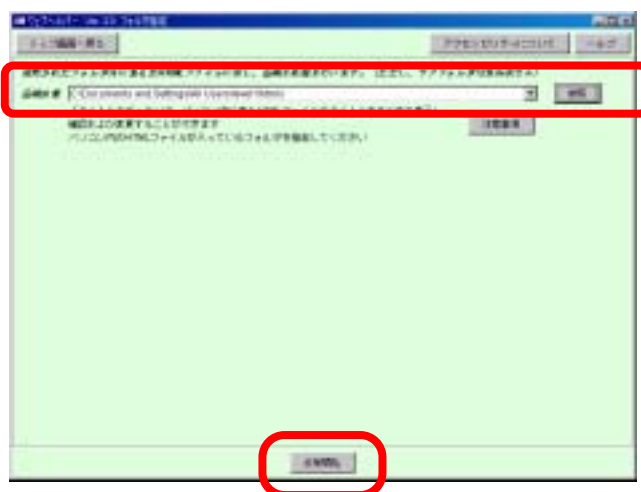
まず、ウェブヘルパーVer2.0 のトップ画面メニューから、【タイトルエディタ】ボタンを選択します。



点検を行いたいフォルダを指定します。

点検対象を指定する枠内にフォルダ名を入力してください。フォルダ名を指定する場合には、【参照】ボタンを使ってフォルダを探し出すこともできます。

点検対象のフォルダを指定したら、最下段に表示された【点検開始】ボタンを押して下さい。ウェブヘルパー Ver2.0 が点検を開始します。



**注意！**

点検対象はローカル環境でアクセスできるフォルダ内の HTML ファイルです。  
点検対象に、サブフォルダ以下の HTML ファイルは含まれません。複数のフォルダについて点検を行いたい場合は、一連の作業を繰り返して行ってください。

各ページのタイトルを確認し、必要に応じて修正します。

「タイトル一括編集」画面に表示が切り替わり、対象フォルダ内の全 HTML ファイルのファイル名とタイトル (title 要素に指定されたテキスト) が表示されます。

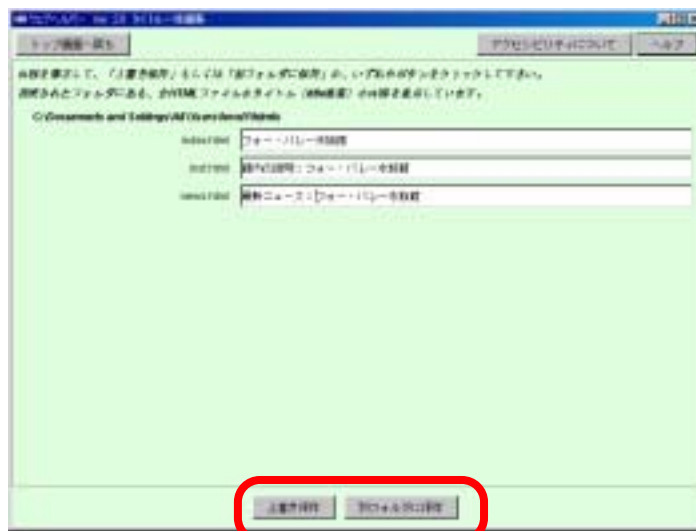
それぞれ分かりやすいページタイトルが付けられているか、同じタイトルのページが無いかなどを確認し、必要に応じて修正してください。



修正結果を保存します。( で修正を行った場合)

でタイトルの修正を行った場合は、修正結果を保存します。

対象 HTML ファイルに修正結果を上書き保存する場合は、ページ下部の【上書き保存】ボタンを選択します。上書き保存は対象となっている全 HTML ファイルに対して一括で行われますのでご注意ください。なお、修正結果を反映した別ファイルを作成する場合は、ページ下部の【別ファイルに保存】ボタンを選択します。



修正を行わず、現状のままでよい場合は、ページ上部の【トップ画面へ戻る】ボタンを選択します。

### 1 3 【ALT エディタ】機能の利用手順

---

「ALT エディタ」機能の利用手順は以下のとおりです。

点検対象の HTML ファイルを選択します。



代替テキストの指定有無や内容を確認し、必要に応じて修正します。



修正結果を保存します。( で修正を行った場合)

以下に手順の詳細を説明します。

点検対象の HTML ファイルを選択します。

まず、ウェブヘルパー Ver2.0 のトップ画面メニューから、【ALT エディタ】ボタンを選択します。

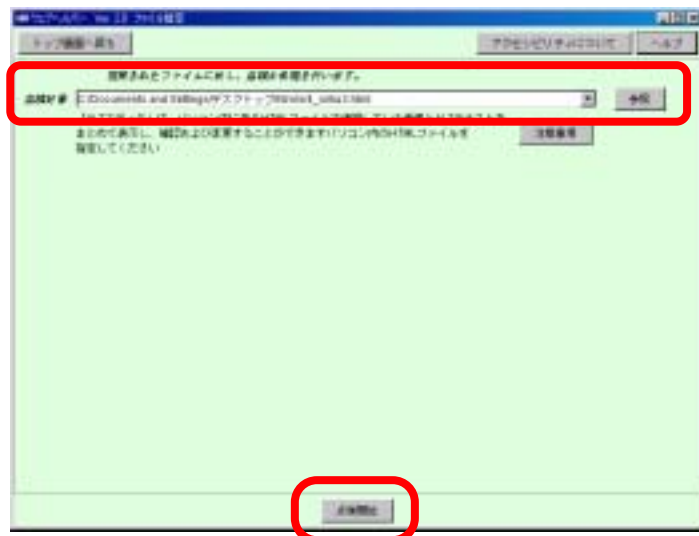


点検したいファイルを指定します。

点検対象を指定する枠内にファイル名を入力してください。ファイル名を指定する場合には、【参照】ボタンを使ってファイルを探し出すこともできます。

点検対象のファイルを指定したら、最下段に表示された

【点検開始】ボタンを押してください。ウェブヘルパーVer2.0 が点検を開始します。



注意！

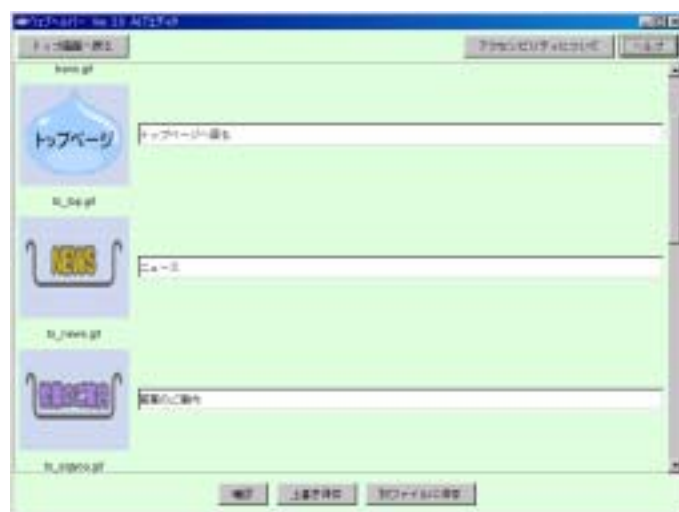
点検対象はローカル環境でアクセスできる HTML ファイルです。

複数の HTML ファイルについて点検を行いたい場合は、一連の作業を繰り返して行ってください。

代替テキストの指定有無や内容を確認し、必要に応じて修正します。

「ALT エディタ」画面が表示が切り替わり、対象 HTML ファイル内で使われている全画像 (img 要素) について、画像イメージと指定されている代替テキスト (alt 属性) の内容が一覧で表示されます。

画像イメージを参照しながら、代替テキストに洩れがないかどうか、指定されている代替テキストが適切であるかを確認します。



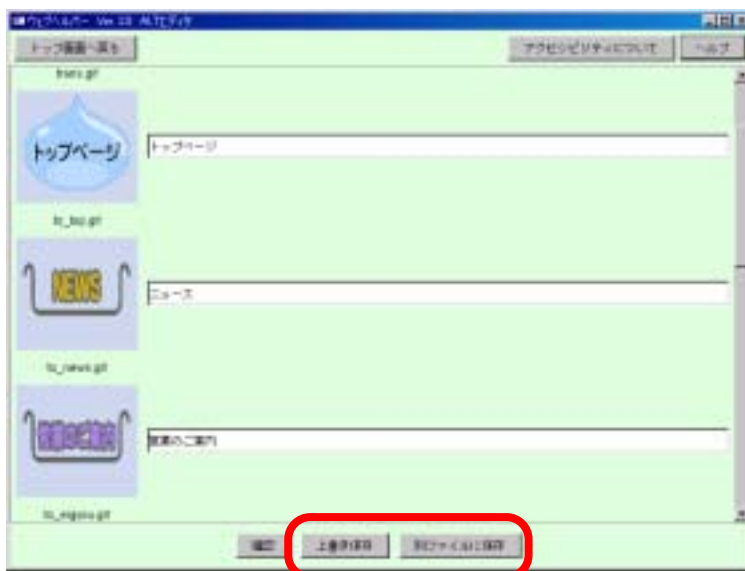
必要に応じて、代替テキストを修正します。ページ下部の【確認】ボタンを選択すると

自動的にブラウザが立ち上がり、修正結果を確認することができます。

修正結果を保存します。( で修正を行った場合 )

で代替テキストの修正を行った場合は、修正結果を保存します。

対象 HTML ファイルに修正結果を上書き保存する場合は、ページ下部の【上書き保存】ボタンを、修正結果を反映した別ファイルを作成する場合は、ページ下部の【別ファイルに保存】ボタンを選択します。



修正を行わず、現状のままでよい場合は、ページ上部の【トップ画面へ戻る】ボタンを選択します。